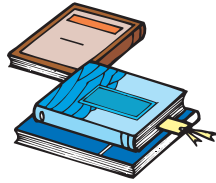


ほんの森

図書館 ☎84-3311



図書館休館日

12月29日(土)～1月4日(金) 毎週月曜日

日曜映画会

『トムとジェリー ドルーピーといっしょ①』

と き 12月23日(日) 午前10時・午後2時
 上映時間 40分
 ところ 2階ハイビジョンホール
 定 員 各回 先着100名
 ※整理券は不要です



クリスマスおはなし会

楽しい人形劇や絵本の読み聞かせをします

と き 12月15日(土) 午後2時～3時
 場 所 2階ハイビジョンホール
 定 員 先着80名
 申込・問い合わせ 図書館カウンターまたは電話

金曜映画会

『パパは雪だるま ジャックフロスト』

と き 12月21日(金) 午後2時から
 上映時間 1時間41分
 ところ 2階ハイビジョンホール
 定 員 先着100名
 ※整理券は不要です



文芸

◆俳句

枯れなんとして色尽す実紫

浅野 茂子

「おらくに」と僧の一言彼岸花

池田 逸子

天高し地球の隅の生活かな

伊藤 敬子

神無月禰宜平服に釋がけ

伊藤 定男

山小屋の窓に板打つ冬構え

今関満喜子

叱られた思い出いっばい毛糸巻き

魚地 照子

どんぐりや幼馴染の顔いくつ

江森 悦子

コスモスのゆれて新居を明るくし

大木 素風

万歩計足音つなぐ秋の川

川島 孝夫

神無月神在る如く地鎮祭

川島 通則

やわらかく映る十六夜坂田池

桑名 大行

渺々と九十九里浜いわし雲

向後 寛

赤い服似合ふ辛寿や神無月

越川せつ子

かさかさ紅葉を踏みし家族づれ

小松 藤男

鬼瓦傾き柿の熟れ初めり

佐瀬 輝夫

湿原にかりそめの湖秋出水

宍倉 道子

静けさや神々集り出雲路に

鈴木とし子

木洩れ陽のちらりほらりと石路の花

玉虫 栗扇

風除けを作りて小さき出入口

戸村 静華

会津路や城石垣の石路の花

福田 幸子

朝寒や時報を告げる童唄

布施 和代

色鳥や玄閑の鍵かけ忘れ

丸山 照美

雪降らぬ里のしあわせ冬用意

山口 一秋

銚子港十月の海猫啼き群れる

渡部 和秋

◆短歌

鈴虫の夜毎鳴きある庭隅に

茄子の輪切りを今宵も置きぬ

八角 三枝

健やかな夫あるだけで幸せと

改め思う喪の席にゐて

佐瀬 初音

天高き老人会の玉入れに

平山 芳子

降る雨の屋根打つ音を聞きながら

永藤 滋

また来ると病室出でし窓の外

吉岡 信子

遣らずの雨が降りてゐるなり

雨上り雫の残る蜘蛛の巣が
風に吹かれてキラリと光る

長谷川正子

蜜を吸ひ花移り飽かなき紋白蝶
黄花コスモスはつかゆらして

押尾 輝子

紫蘇の実を扱きたる指の残り香に
母とせし日の甦りきぬ

青木 秀子

妹の植えてくれたる鶏頭の
紅鮮やかな夫のみ墓辺

鈴木まさ子

トウタラの響き優しきアイヌ語の
岩と湖とが十和田湖といふ

西山満里子

洪水に幾度あひしか大き樹を
支ふる溪谷の杉の根太し

池田 春江

離婚せし事すでに吾は知るるも
友の話しにうなずき返す

島田ますみ

帰るとふ息子の電話に幾度も
時計を見遣り庭に出で見つ

田崎 尚美

萩・芒母と採りたる幼な日を
思ひてゐたり今宵十五夜

芹川 初子

「やったー」と兎の手と吾が手打ちはす
成功体験共にせしあと

大場 和可

金の針ふむ秋日の降り注ぎ
刺さるる項ひりひり痛し

斉藤つね子

漆黒のしじまに一条守りいる
沖行く船に灯台明かり

安田 和子

耕せば父祖の湿り通いくる
田畑守りて七十路となりぬ

越川 義則